

人づくり ニュースレター

令和3年度

Vol.1

1.家庭教育講座「子育ておしゃべりサロン」 2.富士宮人づくりの会 3.未来を切り拓く Dream 授業 4.オンライン会議実施方法の紹介

◆ 人づくり推進員と家庭教育支援員の連携

家庭教育講座 「子育ておしゃべりサロン」

(事務局) 伊豆市教育部社会教育課

問合せ ☎ 0558-83-5476



伊豆市では、子育て中の保護者が気軽に日頃の悩みなどを相談することができ、保護者同士の交流もできる場所として家庭教育講座「子育ておしゃべりサロン」を開催しています。

サロンでは、人づくり推進活動を行うために県が委嘱した人づくり推進員と、家庭教育支援の知識とスキルを身に付けた家庭教育支援員が連携し、子育てに関する助言や保護者の支援に取り組んでいます。



▲ キーワードカードで会話のきっかけづくり



▲ 読み聞かせを行っている様子

◇ 子育ておしゃべりサロンとは？

平成29年度に活動を開始したサロンで、以前は家庭教育支援員が公民館や学校等に出向き、保護者同士のレクリエーションやおしゃべりの場所として開催していました。令和2年度からは開催場所を修善寺生きいきプラザに固定し、人づくり推進員の渡部雅代推進員(伊豆市)も運営に協力して、子供を持つ保護者の相談、交流の場所として月に1回開催しています。

渡部推進員は図書館司書の経験と「静岡県子ども読書アドバイザー」としての見識を生かし、子供向け、大人向けの本の紹介や読み聞かせなどを行う役割を担っています。

サロンの中で気になった本があれば、会場近くの図書館で借りて、そのまま家庭内での子育てにつなげられることも魅力の一つです。

◇ リフレッシュできる居場所づくり

子育ておしゃべりサロンへの参加は電話での予約を基本としていますが、当日の飛び入り参加も可能で、行きたいときに気軽に参加できるような工夫をしています。

子育ておしゃべりサロンを企画する伊豆市社会教育課では、「コロナ禍においても、保護者がリフレッシュできる居場所を提供し続けることが大切」という思いから、内容や形態を工夫し、保護者に寄り添いながらサロンを開催しています。



▲ 令和3年度は試行的に屋外でも実施

◆ 地域における人づくり実践事例

富士宮人づくりの会

(事務局) 富士宮市教育委員会
社会教育課家庭・青少年係
問合せ ☎ 0544-22-1188



富士宮市の人づくり推進員等を構成メンバーとする「富士宮人づくりの会」では、「人づくりは自分づくり」をモットーに、富士宮市社会教育課と連携し、市民を対象に「富士宮人づくり講座」を開催しています。

講座では毎年度テーマを変え、テーマに沿った講話とグループワークを行っています。令和3年度のテーマは「よりよく生きる～共生～」として、年3回の講座を開催しました。



▲ 令和3年度第1回目の講座の様子



▲ 富士宮人づくりの会会長
増田恭子氏

◇ 富士宮人づくりの会の結成～現在

「富士宮人づくりの会」は、富士宮市の人づくり推進員が平成19年ごろから、地域で活躍されている方を講師に招いた講座の開催、地域における生涯学習の推進や人づくり推進員の仲間づくり等を目的に立ち上げた協議会です。始めは5人だったメンバーも、地域の様々な立場の方が加わり、現在では約20人が所属しています。

主な活動として、年に3回、市民を対象にした「富士宮人づくり講座」を開催しています。また、講座のほかに3か月に1回、富士宮人づくりの会のメンバーで勉強会を実施し、メンバー間の情報交換を実施するなど、精力的な活動をされています。

「富士宮人づくりの会」の取組みや講座が約14年間継続して開催されている背景には、富士宮市社会教育課のサポートがあります。会場の手配、チラシづくりなどの広報、企画等を、会発足当初からサポートしており、講座の継続に欠かせないパートナーとなっているそうです。

◇ 特別講座（講師：静岡県立美術館館長 木下直之氏）の開催

令和3年度の講座テーマにもある「共生」について、富士宮人づくりの会会長の増田恭子氏は、「コロナ禍において、我々は自分一人だけでは生きられない、ということがよく分かった。人と人とのつながりを作ることが大切であり、相手を尊重し合うことが『共生』の元になる。」と、その思いを語られました。

また、令和3年7月18日(日)に開催された特別講座「美術館って何だろうー『ムーミン展』に教えられたこと」(講師：静岡県立美術館館長 木下直之氏)では、木下氏が静岡県立美術館で開催された「ムーミン展」を振り返り、作者やキャラクターの話を変えながら他者を認めることの大切さについて講演されました。



▲ 講演する木下直之氏



◆ 県の取組紹介

未来を切り拓く Dream 授業

静岡県スポーツ・文化観光部総合教育課

問合せ ☎ 054-221-3304

URL <http://www.pref.shizuoka.jp/bunka/bk-170/dreamschool.html>



静岡県では、「有徳の人づくり」の一環として、「未来を切り拓く Dream 授業」を開催しています。中学1・2年生を対象に、日常生活で触れる機会の少ない一流講師陣の講義やグループディスカッション等を行い、中学生が自らの能力を更に伸ばすきっかけの場を提供しています。

◇ 令和3年度は前期・後期の分割開催

「未来を切り拓く Dream 授業」は、平成30年度から開催しています(令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止。)。令和3年度は、3泊4日の合宿形式で開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、講義を中心にオンラインで実施する前期、外国人との交流やグループディスカッション等を中心に対面で実施する後期に分けて開催することとし、前期は8月に開催しました。



▲ 体を動かす授業の様子

Dream 授業(前期)の概要

- 日程 8月17日(火)から19日(木)まで
- 参加者 県内の中学1・2年生 30名(応募者から抽選)
- 講師 小野澤 宏時 アザレア・セブンチームディレクター
加藤 種男 アーツカウシルしずおかアーツカウシル長
加藤 百合子 (株)エムスクエア・ラボ代表取締役
川勝 平太 静岡県知事
杉田 精司 東京大学大学院教授
矢野 弘典 横綱審議委員会委員長
SPAC 劇団員

(50音順)



▲ ピアノを披露する生徒の様子

◇ オンライン開催の可能性

参加者アンケートからは、「講師の先生方が、面白く、工夫して色々なことを教えて下さったので分かりやすかった。」「オンラインでも楽しくコミュニケーションを取れたことがとても嬉しかった。」という声が聞かれました。

オンライン開催では、参加者同士が打ち解けるまでに少し時間がかかっているようでしたが、徐々に緊張が解け、パソコン等の操作にも慣れると、活発な意見交換が行われました。お互いの熱意等を直接感じ取ることはできませんでしたが、一定の成果はありました。



▲ 講義後の質疑応答の様子

◆ お役立ち情報



オンライン会議(Web 会議)実施方法等の紹介

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、様々な分野においてオンライン会議(=Web 会議)が開催されるようになりました。

「懇談会や講話会、情報交換の場をオンラインで開催してみたいけど難しそう・・・」と感じている方もいるかもしれません。本ページでは、オンライン会議の基本についてご紹介しま

◇ オンライン会議のメリット・デメリット

メリット

- 参加者が同じ場所に集まる必要が無い
(感染症対策、交通費や会場費の節約など)
⇒普段、会場に行きにくいと感じている参加者も気軽に参加できる
- 会議資料の印刷などを省略できる

デメリット

- 通信環境に影響を受ける場合がある
- 参加者の表情や雰囲気分かりにくい
- 初期費用がかかる場合がある
- セキュリティ面に注意する必要がある

◇ 主な Web 会議システムの紹介

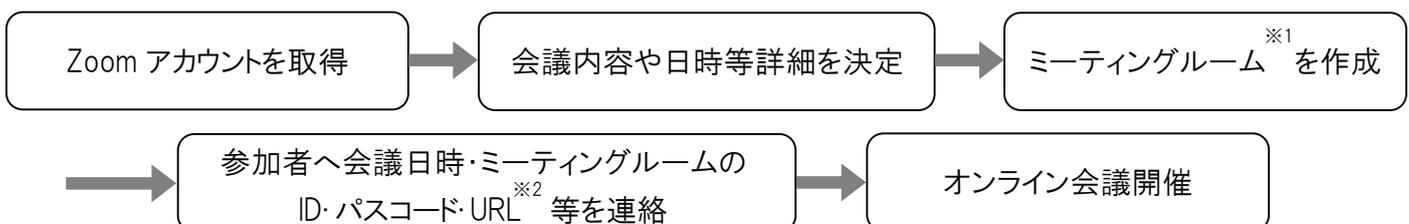
パソコン、タブレットやスマートフォンでオンライン会議を開催するためのツールを、一般に「Web 会議システム」と言います。主なWeb会議システムを下記に紹介しますが、この他にも様々な Web 会議システムが各社から提供されています。会議の規模等に応じて、参加者が参加しやすいものを選択するといいかもかもしれません。

主な Web 会議システム(無料版の機能紹介)(有料版では、接続可能時間や参加可能人数が増加します。)

名 称	接続可能時間	参加可能人数	アカウント登録	有料版の有無
Zoom	40 分 (2 名の場合は無制限)	100 人	主催者のみ必要	あり
Cisco Webex Meetings	50 分	100 人	主催者のみ必要	あり
Skype	1 回 4 時間 (1 日 10 時間)	50 人	主催者・参加者ともに必要	あり

◇ オンライン会議開催までの手順 (Zoom を例に)

※手順はあくまで一例です。



※1 会議関係者が入れる、インターネット上の会議室。

※2 ミーティングルームに入るための部屋番号とカギのようなもの。これらがないと入室できません。

■編集・発行 静岡県 スポーツ・文化観光部 総合教育局 総合教育課(総合教育班)

〒420-8601 静岡市葵区追手町 9 番 6 号 TEL 054-221-3304 FAX 054-221-2905

E-mail sougouEDU@pref.shizuoka.lg.jp URL <http://www.pref.shizuoka.jp/bunka/bk-170a/>

静岡県の人づくり推進

検 索

